



各 位

平成21年4月30日

件名：豚インフルエンザ検疫体制について

世界保健機関（WHO）は現地時間4月29日午後10時より記者会見し、現行のパンデミックアラートをフェーズ4からフェーズ5に引き上げると発表しました。（パンデミック：世界的大流行）

フェーズ4となった場合（第一段階（海外発生期））の日本政府の計画上の対応は下記のとおりです。尚、フェーズ5,6となっても日本国内で発生が無い限り同じ対応となる為、今回フェーズ5に引き上げられましたが、国内感染が無いことから日本政府の基本的対応としてはフェーズ4と同じになります。

第一段階（海外発生期）：ウィルスの侵入防止・在外邦人支援

- ・総理、全閣僚からなる「新型インフルエンザ対策本部」設置
- ・検疫の集約化、停留等の開始
- ・国民（在外邦人を含む）への情報提供の強化
- ・医療従事者等へのプレパンデミックワクチンの摂取開始
- ・パンデミックワクチンの製造開始

新型インフルエンザ対策行動計画より、貨物船等に係わる部分を以下抜粋します。

- ・厚生労働省は関係省庁と協議の上、発生国から来航する航空機・船舶について検疫法に基づき、その状況に応じて事前に国内検疫実施場所を指定し、集約化を図ることを検討する。
- 旅客機等については成田、関西、中部及び福岡空港で、貨物専用機については検疫飛行場での対応を検討する。
- 貨物船については、検疫集約港以外の検疫港においても対応する。ただし、その積載貨物により検疫港に入港することが困難である場合には、感染拡大のおそれに留意しつつ、別途関係省庁において対応を検討するものとする。

引き続き情報が入り次第、ご案内するように致します。

株式会社 共同フレイターズ(通関業、国際複合輸送業)

営業部 : TEL : 03-5418-6371 / FAX : 03-5418-6377

カスタマーサービス部 : TEL : 03-5418-6372~3 / FAX : 03-5418-6380

横浜支店 : TEL : 045-211-2001 / FAX : 045-211-2000

URL : <http://www.kau.co.jp>